

令和5年度「臨床検査学科卒業研究発表会」を開催しました。

令和5年9月25日に本学にて、臨床検査学科の卒業研究発表会を行いました。この発表会は毎年開催されており、臨床検査学科4年生が臨床検査学科の各研究室で約半年間行った研究内容を学会形式で発表するものです。当日は、臨床検査学科4年生と来年度履修予定の3年生、そして臨床検査学科教員が参加して、13演題発表されました。

研究領域は病理学、臨床化学、解剖生理学、微生物学、生理学、遺伝子学、血液学、一般検査学、免疫学と多岐にわたります。4年生たちは各研究室で実験手技や論文の読み方、スライドの作り方、発表の仕方について学び、学生同士で協力しながら研究を最後までやり遂げました。当日、学生たちは壇上から堂々と発表しており、教員からの鋭い質問に対してもわかる範囲内で受け答えしていました。卒業研究を通して、科学的思考力や論文検索を通じた国際的な視野を習得していると感じました。今年からは優秀演題賞が設けられました。受賞した学生は3大学学術交流会で発表する予定です。発表会の最後には優秀演題賞の授賞式が行われ、選ばれた学生はうれしそうな笑顔を見せてくれました。卒業後は病院に勤務予定の学生たちですが、卒業研究で学んだことを臨床現場に還元してもらえたらと思います。

文責 大栗聖由、樋本尚志

